

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・ 国語の平均正答率は、全国の平均値とほぼ同じか、わずかながら上回っており、一定の定着がみられます。特に「話すこと・聞くこと」では、話の中心が明確になるように話の構成を考える力があり、日頃からの継続した取り組みの成果が見られます。一方で「書くこと」については資料を読み、自分の考えが伝わるように文章を表すことや、情報同士の関係を理解することに課題がみられます。
- ・ 算数の平均正答率は、県の平均値とほぼ同じか、高いレベルですが、全国を若干下回っていました。本校の課題としては、特に「データの活用」について、二次元の表から条件に合う数を読みとることができるかどうかをみる力が弱い傾向にあります。また、「変化と関係」については、基準量、比較量、割合の関係を表している正しい図を読み取ることや、単位量当たりの大きさを求める除法の意味を理解し、混み具合を判断することに課題がみられます。一方で、「測定」について、示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合うものを選ぶ力はついていきます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・ よい傾向がみとめられる項目
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「朝食を毎日食べていますか」について高い数値を示しています。
- ・ 課題となる項目
「学校の授業以外に普段1時間以上勉強する」とした児童の割合が低いです。
「学校が休みの日に1日当たり2時間以上勉強する」とした児童の割合が低いです。
「普段1日当たりテレビ、ビデオ、DVDなどを2時間以上見る」とした児童の割合が全国に比べて高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ 国語の根拠を示して、自分の考えを表現する力を育てるために、自分の考えを伝える際に、考えと根拠を区別して表現することを意識させる活動に取り組んでいきます。
- ・ 言語を使って自分の考えや思いを伝え合う場面を授業や活動に多く取り入れ、子どもたちの考える力、判断する力、表現する力を育てます。
- ・ 「読むこと」の学習では目的をもって文章を読み、読み取ったことを基にして自分の考えを表現するような活動を取り入れます。
- ・ 算数の「図形」の学習では、図形の感覚を豊かにするために、実際に図形を操作して考えたり、量と割合の違いを図で表しながら理解を深めたりする活動を取り入れていきます。
- ・ 知識・技能を活用して、実生活や未知の課題に活用する思考力・表現力を高めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・ 生活リズムを整え、ゲームやスマートフォン、テレビ等を使う時間の約束を決めて守りましょう。
- ・ 学校での出来事や勉強したことなどについて、親子で話をする時間をとりましょう。
- ・ 親子でいろいろな本を読み、お子さんの音読を聞いて励ましてあげてください。
- ・ 「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが進んで学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。